

2017北海道・東北パラ陸上競技選手権 開催要項

- 目的 障がい者の陸上競技の普及並び振興と競技力の向上を図り、心身の健全な発達及び社会参加を促進し、自らも社会貢献活動を行い、社会に寄与することを目的とする。
- 大会名 2017 北海道・東北パラ陸上競技選手権
(旧 北海道・東北 障がい者陸上競技選手権)
- 主催 福島パラ陸上競技協会
- 共催 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会
福島県障がい者スポーツ指導者協議会
- 後援 (予定) 福島県、福島県教育委員会、一般財団法人福島陸上競技協会
東北ブロック障がい者スポーツ指導者協議会
一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
NPO法人日本知的障がい者陸上競技連盟
株式会社利根川建設、JA福島五連、
東亜道路工業株式会社東北支社、クリヤマ株式会社、
福島民報社、福島民友新聞社
- 協賛 (予定) 東邦銀行、株式会社アポロガス、株式会社クラロン、有限会社鈴木設計、
株式会社クレマー・ジャパン、株式会社同仁社 他
- 日時 平成29年7月22日(土) 午前10時～(受付9時～)
及び 100m・400m・1500m・10000m(各予選・決勝)
競技日程 三段跳び・走高跳 やり投げ・砲丸投げ(各決勝)

平成29年7月23日(日)
200m・800m・5000m・4×100mR(各予選・決勝)
走幅跳 円盤投げ・こん棒投(各決勝)
* 申し込み状況によっては変更になり可能性があります。福島パラ陸上競技協会のブログ(<http://fukushima-faad.blogspot.jp/>)にて確認をお願いします。
- 場所 福島市 とうほう・みんなのスタジアム(県営あづま陸上競技場)
〒960-2158 福島県福島市佐原字神事場1番地
- 交通 [自動車]
 - ・東北自動車道「福島西I.C.」より車で約10分

- JR「福島」駅より車で約 20 分
[路線バス]
- JR「福島」駅より東口バス停「佐原行」7 番乗り場乗車、『あづま総合体育館』下車、競技場まで徒歩約 10 分

- 競技種目 別紙：実施種目一覧表のとおり
- 競技規則 平成 29 年度日本パラ陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

- 参加資格及び制限
 - ① 平成 29 年度日本パラ陸上競技連盟及び平成 29 年度 NPO 法人日本知的障がい者陸上競技連盟登録者及び北海道・東北地区在住の障がい者
 - ② 上記登録者以外の者で主催者が認めた者。
 - ③ 参加種目数は 3 種目 ただし、トラック競技とフィールド競技の競技時刻が重なる場合は、トラック競技を優先する。
 - ④ 運営上 5000m・10000m 走には制限タイムを設ける。
 - 男子 5000m
25 分【T11~13、T20、T43~49、T60】
20 分【T52】 15 分【T53~55】
 - 女子 5000m
30 分【T11~13、T20、T49、T60】
18 分【T53~55】
 - 男子 10000m
50 分【T11~13、T20、T49、T60】
30 分【T53~55】

なお、競技中に制限タイムを超えた場合は、競走の途中であっても中断する場合があります、記録は途中棄権とする。
この種目にエントリーする選手は、このことを十分理解・承知してエントリーすること。

- 参加種目 出場種目は 1 人 3 種目までとする
(リレー競技は含まない)

- 参加費 3,000 円 (記録証・ナンバーカード・傷害保険料)

- 申込方法 同封の参加申込書に必要事項を記入の上、大会事務局に郵送で願います。

【大会事務局】 〒965-0007 会津若松市飯盛三丁目 10 番 1 号

福島パラ陸上競技協会 事務局 齋藤 俊蔵

携 帯 090-2362-2027

E-mail toshizo@mwnet.jp

- ・参加料 郵便振替での納入に限る。郵便局備付の郵便振替用紙を使用し、通信欄に氏名・住所等を記載すること。なお、参加料の納入が確認できない場合、申し込みを受けつけない。（一旦納入された参加料は、返金しない。）
郵便振替口座番号： 02200-2-119762
郵便振替口座名称： 福島県障がい者陸上競技協会
ゆうちょ銀行 : 229店 当座0119762

申込期限 平成29年6月19日（月）必着

＊弁当代は当日受付でお支払い下さい。

＊申込完了者には、参加資格の審査後、参加決定通知を郵送する。（6月下旬発送予定）

- ・表彰 表彰式は行わない。競技終了後に記録証を発行する。
- ・備考（大会申合せ事項）
 - 1：参加者には「ナンバーカード」を配布する。
 - 2：車いす使用者は必ずヘルメットを着用すること。
 - 3：会場までの送迎は行わない。
 - 4：傷害保険は主催者側において一括加入するが、いかなる事故に対しても主催者側は責任を負わない。参加にあたっては主治医または医師の診断を受けるなど、運動が可能な状況のもと、自己責任において健康と安全については十分留意し、参加申し込みをすること。（選手は保険証の写しを持参すること。）
 - 5：参加取り消しの扱いについて、参加料3,000円については返金しない。
 - 6：異議申し立てについては、記録発表後30分以内に書面（異議申立書）にて申請を行うこと。
 - 7：個人情報等について
 - (ア) 主催者は、個人情報の保護に関する法令及び関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会出場の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。
 - (イ) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

8：宿泊に付いて

宿泊を希望する方には参加申込書を平成29年5月19日までに投函して下さい。

不明な点がございましたら大会事務局にお問い合わせください。

できるだけE-mailにてお願いいたします。

【大会事務局】 〒965-0007

会津若松市飯盛三丁目10番1号

福島パラ陸上競技協会 事務局

齋藤 俊蔵

携 帯 090-2362-2027

E-mail toshizo@mwnet.jp

競技注意事項【概要】

1. 規則について

本大会は平成29年度日本パラ陸上競技連盟競技規則を適用する。さらにこの競技注意事項によって実施する。

2. 競技場使用上の注意

- ① 会場に到着後必ず受付をすませ、プログラム、ナンバーカードを受領する。
- ② 更衣室は備付けの場所を使用し、貴重品の管理は各自で行う。

3. 競技者の招集について

- ① 招集開始時間に招集場所まで行き招集完了時間までに資格審査を受けて下さい。
- ② 招集完了時刻に出場選手本人がいない場合は、棄権として処理をする。
- ③ トラック競技とフィールド競技が重なっている場合などは、トラック競技を優先して出場する。その際、事前に招集場所の競技役員に申し出る。
- ④ 招集を行わない競技者は棄権とみなす。

4. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、主催者の用意したものを競技用シャツの背部と胸部に付けること。車いすの競技者は競技審判によく分かるように、車いすの前後につけること。

5. 競技方法について

- ① 競技グループ等の区分は、本大会所定のもので行なう。
- ② 視覚障害の競技者で伴走者を必要とする選手がゴールする際に、伴走者が先にフィニッシュラインを通過した場合や伴走者と競技者が0.5m以上はなれた場合、伴走者が競技者を引っ張ったり前方へ押し出したりした場合は失格とする。
- ③ 視覚障害の走り幅跳びにおいて、踏切板は1m×助走路幅のエリアに白でマーキングをし、砂場まで1mの位置に最先端を設置する。
- ④ トラック種目における車いす選手は、ヘルメットの着用をする。
- ⑤ 投てき種目における車いす競技者の車いすの高さは、クッションを含め75cmを超えてはならない。また、車いすを固定する場合補助員を1名まで認める。
- ⑥ レーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。
- ⑦ 用器具は主催者の用意したものを使用する。
- ⑧ 同時刻に他の種目に出場する場合は、競技中の審判員に申し出て、競技を離れる。
- ⑨ 400mまでのトラック競技はスターティングブロックを使用しなければならない。
- ⑩ スターティングブロックのセッティングや走幅跳、走高跳の助走のマーキングについては、競技者ができない場合は招集所に位置を示す図を提出することにより、競技役員が競技者に代わり行うこととする。選手の引率は、招集所まで選手を引率する。IDカードを所持した選手、競技役員以外はトラック・フィールドに入ることはできない。
- ⑪ 一度の不正スタートでも、責任を有する競技者は失格となることを十分理解しておくこと。

- ⑫ スパイクのピンの数は11本以内、長さは全天候型9mm を超えてはならない。また、走高跳、やり投げの場合は12mm を超えてはならない。これらのスパイクのピンの直径は先端が4mm 以内でなければならない。

6. 表彰等について

- ① 記録証は競技毎に発行する。
予選レース記録証：タイム 決勝レース記録証：順位・タイム
- ② 記録の速報については、競技場内記録集計所に掲示する。

※ 以上はあくまでも概要であるので、陸上競技規則及び規定については各自確認をしておくこと。